

相模原障害者殺傷事件から10年

津久井やまゆり園の犠牲者を追悼し、  
インクルーシブ社会を目指す会

2026.7.22(水)

12:00-17:00

12:00-14:30(議員会館)

15:30-17:00 (アピール行進：日比谷公園から東京駅)

～犠牲者を追悼し、優生思想を許さない！

脱施設とインクルーシブ教育を進めよう！～

2016年7月26日、神奈川県相模原市にある障害者入所施設・津久井やまゆり園で19名の障害者が殺められ、27名が負傷させられた「相模原障害者殺傷事件」が起きました。事件を起こした植松聖は、「障害者は不幸をつくりだす存在であり、いなくなればいい」と主張しました。優生思想に基づく犯行であり、問われるべきは、事件を生み出した社会のあり方でした。

分離教育、入所施設中心の政策、そして、優生保護法のもと優生思想を根づかせてきた歴史等との関係が検証され、施策の大転換が必要でしたが、果たして10年経って、日本は変わったのでしょうか。

事件から10年を迎える7月に、犠牲者への追悼と共に、障害の有無によって分け隔てられることのないインクルーシブな社会の実現に向けて、優生思想を許さず、脱施設、インクルーシブ教育を推進するために、集会とアピール行進を行います。

※情報保障あり（手話、要約筆記）

## 1. 主なテーマ

犠牲者の追悼、優生思想を許さない、  
脱施設とインクルーシブ教育を推進しよう！

## 2. プログラム（予定）

- 11:20 受付開始 献花
- 12:00 開会 黙祷、あいさつ
- 12:20 ビデオ上映
- 12:40 第1部 尾野一矢さんの自立生活
- 13:25 休憩
- 13:40 第2部 マイクリレー
- 14:30 閉会 参加者は献花の花を持って日比谷公園に移動
- 15:20 日比谷公園集合 西幸門付近
- 15:30 アピール行進スタート
- 17:00 鍛冶橋交差点にて流れ解散（予定）

主催：DPI日本会議、全国自立生活センター協議会（JIL）、  
ピープルファーストジャパン、DPI女性障害者ネットワーク